

# 西根

## 焼走りの湯入浴者が開業7年で80万人に



80万人目となった西村さん(写真中央)

平成11年7月に開業した岩手山焼走り国際交流村「焼走りの湯」は8月4日、約7年で入浴者80万人を達成しました。80万人目は、盛岡市の西村フク子さん(68歳)。田村正彦市長やコスモプラザ西根の田村市郎支配人など多くす玉を割って、達成を祝いました。杜仲茶セットなどの記念品が贈られた西村さんは「お湯が柔らかく、肌にも優しいのでよく来ています」と区切りの80万人目を喜びました。

## グループホーム「ななしぐれ」が完成する

社会福祉法人西根会(伊藤善悦理事長)が堀切に建設していたグループホーム「ななしぐれ」が完成し、7月31日に落成記念式典を開きました。当日は、福祉関係者など約70人が出席して、完成を祝いました。グループホームは、認知症高齢者が家庭的な環境で共同生活する介護サービス施設。入所が決まった9人は、自立した生活を目指し、職員のサポートを受けながら機能回復に取り組みます。



市内のグループホームは「わの家」に続き、2カ所目

## 西根地区の運動会4会場で熱気ムンムン

西根地区の大運動会は8月20日、4会場で行われました。西根地区では、地区公民館単位で、大更、田頭、平館、寺田の大運動会を、それぞれ同日に開催しています。

この日は、気温30度を超す猛暑。参加した人たちは、地域間の交流と結束を深めながら、普段の運動不足を解消しようとして汗を流しました。運動会では、個人種目の徒

競走やチームを代表するリレー、チャンスレースなどの団体種目を多彩に実施。各チームの名誉をかけた運動会は熱気に包まれました。各地区の大会の結果は次のとおりです。

■大更①下町②両沼③北村  
田頭①高宮②間羽松③町組  
平館①山崎②駅前・鷺森③共  
新■寺田①帷子②寺田③土  
沢・若谷地



息を合わせて、力いっぱい綱を引っ張る参加者の皆さん(平館地区大運動会の綱引き)

# 八幡平市

## 盛岡さんさ踊りパレードで八幡平市PR

日本一の太鼓パレード・盛岡さんさ踊りは8月1日から盛岡市中央通で開幕し、市内の2団体が参加して、合併した八幡平市を全国にPRしました。

さんさ踊りは今年、盛岡市と旧玉山村が合併したことを記念して例年より1日多い4日間開催。市内から参加した、さくらさんと安代りんどうの合同チーム総勢200人が、初日の1日、華やかな演舞を披露しました。



パレードには、さくらさんと安代りんどうが市民チームとして参加、華やかな演舞を披露しました【写真提供：広報もりおか】



総勢200人の合同チームが盛岡さんさ踊りで八幡平市をPRしました【写真提供：広報もりおか】

披露しました。さくらさんは、旧松尾村が母体の団体で、西根、松尾両地区の市民約120人、安代りんどうは安代地区の市民約80人で構成。合併に伴い、2団体が合同で参加し、力強い踊りで元気な八幡平市をPRしました。合同チームのパレードには、8月5日に市内で結婚式を挙げた、盛岡市の伊藤一彦さんと今野奈央子さんも参加。「さんさウエディング」と題して、人力車に乗って加わり、沿道の人たちから祝福を祝う声や拍手が上がりました。



15人の男女がチームワークを競ったボール送り

お年寄りの健康保持と互いの親ほくを深めようと第1回市老人スポーツ大会は8月2日、市総合運動公園多目的広場で開かれました。大会には大更・寺田、田頭・平館、松尾、安代の4チームから60歳以上の選手300人が出場。男子100歳、女子60歳の徒競走や、ボール送りなどの団体種目3競技でハッスルしました。競技の結果、初代優勝チームは松尾、準優勝は大更・寺田でした。

## 第1回スポーツ大会でお年寄りハッスル

## 友好の輪を広げる市国際交流協会が設立

旧3町村が培ってきた国際交流を市民とともに推進しようと、市国際交流協会は8月9日、設立総会を開きました。設立総会には、発起人など約50人が出席。事業計画などが承認されたほか、会長に横沢盛悦さん(大更)、副会長に佐藤達男さん(田頭)、畠山正徳さん(打田内)が選ばれました。これまで、西根地区はタイ、松尾地区はオーストラリア、安代地区はニュージーランドと友好をはぐくんできています。



国際交流の輪を広げようと設立総会に参加した会員たち



# 安代

## 安代地区4保育施設合同で親子レク開催



米白河川公園内の小川でヤマメ取りを楽しむ親子

安代地区の2つの保育所と2つの児童館で構成する、安代地区保育施設保護者会連合会は8月5日、米白河川公園で親子レクリエーションを行いました。

この会は、保育所に通う園児やその親が、地域間の交流を深めることが目的です。

当日は、親子など約百人が参加。公園内でミニウオーケラリーをした後、小さな川でヤマメのつかみ取りなどを楽しみました。

## 送り盆の伝統行事ぶっこみ太鼓が勇壮に

伝統の送り盆行事田山ぶっこみ太鼓は8月16日、田山消防会館周辺で行われました。

午後7時半、花火が打ち上げられぶっこみ太鼓の始まりです。上組、下組の太鼓とちようちん行列が練り歩き、会場で合流。会場では、大きな盆踊りの輪が出来上がり、地域の人たちが踊りを楽しみました。

大きな太鼓と、ちようちん行列が特徴のこの伝統行事は、秋田県鹿角地方から伝わったとされています。



大きな太鼓とちようちんの行列で行うぶっこみ太鼓

## 明治大学応援団が合宿成果発表会で躍動

7月31日から11日間、合宿のため安代地区を訪れた明治大学応援団は8月10日、その成果を見てもらおうと、安代健康増進センターで発表会を開きました。

明治大学応援団(平原真伍団長)はリーダー部、吹奏楽部、バトン・チアリーダー部で構成。約百人の団員たちは合宿期間中、厳しい練習を課し、自己研鑽に励んで、相互の連帯感を強めてきました。

発表会は4部構成。華やか

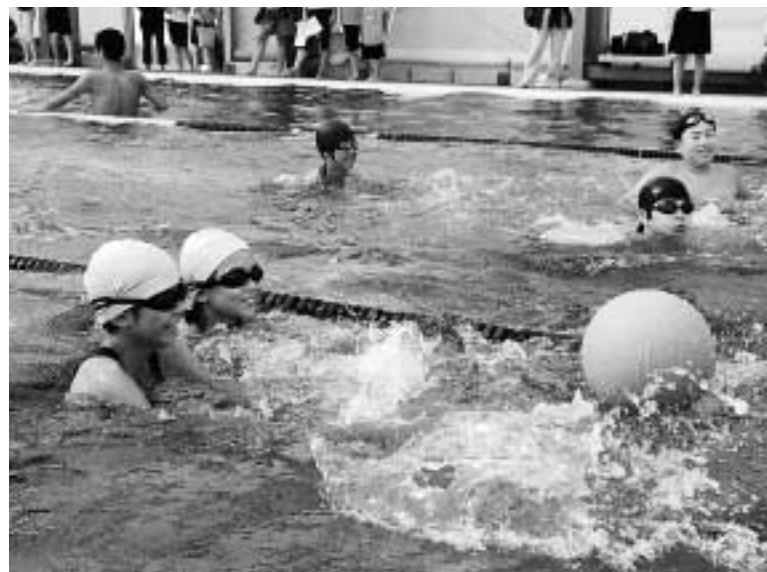
なステージマーチングで幕が開きました。第2部は、はじける笑顔が印象的なチアリーダー部、第3部は心に響くブラスバンド演奏で、訪れた約2百人の観衆を魅了しました。

いよいよ第4部はリーダー部ステージ。伝統の応援歌や校歌など、迫力ある応援が披露され、会場から盛んな拍手が送られました。平原団長は「地域の皆さんの協力があつて、団員一人一人が成長できました」と感謝しました。

合宿の成果を披露しようと、華やかで、迫力ある応援を発表する明治大学応援団

# 松尾

## 水遊びを楽しもう。アクアキッズフェス



手で水を押し作った波の力でゴムボールを50メートル運ぶ「ノータッチボール」

地域海洋センターサポート21事業アクアキッズフェスは8月27日、松尾B&G海洋センターで開かれました。

この行事は、全国のB&G海洋センターで、この日一斉に行われ、同一種目のタイムを全国で競います。

競技は水中玉入れ、浮き輪でGO、着衣&お着替え100メートルリレー、ノータッチボール、水中四人五脚の5種目。いずれも、身近な道具と簡単なルールで、手軽に行えるものです。



浮き輪におしりを入れてリレーする「浮き輪でGO」

参加した市内の小学生たちは、4人一組のチームで出場。プールで水とたわむれながら、全国の友達とタイムを競い合いました。

松野小学校6年生の仲間に参加した「サイボーグチーム」は、「水中玉入れがおもしろかった。着衣&お着替え100メートルリレーは、濡れた衣服を着替えるのに手間取った。学校のプールでも簡単にできるので、自分たちでもやってみたい」と笑顔を見せました。

旧松尾鉱山跡地の強酸性水などで失われた環境を再生し、環境学習の場につなげようと、雲上の楽園再生フォーラムは8月20日、森林ふれあい学習館で開かれました。

パネルディスカッションでは田村正彦市長、横沢盛悦市観光協会会長、いわてNPOセンターの高井昭平理事長などが意見を交換。田村市長は「自然を守り、再生しながら観光振興策を模索したい」と話しました。



松尾鉱山跡地について意見交換する田村市長(写真左)

## 松尾鉱山跡地の再生・活用法に意見交換



上手投げや下手投げなどの技を練習する参加者

国技・相撲の精神と技を磨こうと、県地方青少年相撲錬成大会は8月9、10の両日、松尾相撲場で行われました。

日本武道館や日本相撲連盟が主催するこの錬成大会には、市内や二戸市の小中学生、高校生の相撲部員約80人が参加。コーチには、日本相撲連盟四段の鈴木衛さん(秋田県)、日景清悦さん(同)が招かれました。

参加者は、礼法などの講義を受けた後、しこの踏み方や技の基本動作を学びました。

## 児童生徒が国技・相撲の精神と技に精進